

スペシャルオリンピックス(SO)とは、知的障害のある人たちに、日々のトレーニングと競技会を通じて、自立と社会参加をサポートする国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーが一緒になって活動を支えています。SOの活動は、すべて非営利活動で、運営はボランティアの方々の積極的な意思と、善意の寄付によって進められています。現在、世界170国以上で370万人のアスリートと85万人以上のボランティアが日常的なスポーツ・トレーニングに楽しく参加しています。競技会は地区レベルから世界レベルまであり、世界大会は夏季・冬季共に4年毎に開かれています。国内でも全ての都道府県に普及していて、富山では現在、約130名のアスリート会員が11種の競技種目に取り組んでいます。



今年のクリスマス会も盛り上がりました

■今季のエッセイ

「みなさんとふれあう機会を頂いて」

先日バスケットボールとテニスの競技会に参加させていただきました。

それぞれのプログラムのコーチから競技の進め方を伺いながら「へえーすごいなあー」と思わず声が出ました。

習熟度に合わせてすべてのアスリートが競技に参加し、全員が表彰されるのはスペシャルオリンピックスの魅力だと思います。一人一人に光が当たるのを目の当たりにして強い感銘を受けました。

また、ボランティアのみなさんや、コーチの皆さんの多さにも驚きました。一昔前まではこんなにたくさんの方に理解を得たり支援していただくということは考えられませんでした。

スペシャルオリンピックスという組織の力、理念

SON・富山副会長 山崎 宗良

の力を強く感じますし、認めあい支えあう世の中へと社会が動いているのを実感します。

ファミリーの皆さんにもいろいろ大変な事があるはずですが、アスリートがありのままの自分を表現している姿がとても印象的でした。

こんな和やかな時間もSOならではの光景ではないでしょうか？

最後に、SOに関わるみなさんの日々の活動の尊さを想い、この人の繋がりこそが我々を良い世の中に導いているのだと思いました。

皆様方のお仲間に入れていただいたことを心から感謝致します。ありがとうございます。

■チャリティーゴルフ

9月7日（土）呉羽カントリークラブにてスペシャルオリンピックス日本・富山チャリティー 第3回「あおぞらグリーン会」が開催されました。

SON・富山では初めてとなるチャリティーゴルフでしたが、約130名の方にご参加いただきました。これは藤井会長と藤井会長の後援会の皆様のご厚意により後援会主催のゴルフ大会の場をお借りすることが出来ました。

ラウンド後の懇親会では、アスリートの中山さんと三松さんがS0の活動についてPRしました。参加者のみなさんから温かい拍手とご支援を頂くことができました。



S0のPRをする中山さんと三松さん、山本副会長



募金箱を持って会場を回りました



ファミリーも参加しました

■ナショナルミーティング

11月2日・3日、ナショナルミーティングが開催されました。ナショナルミーティングはナショナルゲームが開催されない年に全国のS0関係者が一堂に会する場として開催されています。

今年は「輝け！アスリートの力」をテーマに、通常の分科会と全体会に加えてアスリートの作品展示や川柳コンテスト、写真コンテストも行われました。

SON・富山からは、アスリートの中山真美さんが司会者として参加した他、アスリートスピーチコンテストに岩白翔太さんが参加しました。その他の分科会にもアスリートやコーチやファミリーが参加し、作品展示には福島貴大さん、本田淳一さん、村

下陽一郎さんの作品が展示されたほか、川柳コンテストにもエントリーがありました。

今年のナショナルミーティングでは、初日有森理事長の基調講演ののち、アスリートスピーチコンテストが行われました。

2日目には、事務局、アスリート、プログラム体験、ファミリーと4つの分科会が開催されました。プログラムではボッチャの体験プログラムが開催されたほか、ファミリー会議では2019年の夏季世界大会招致に向けた取り組みについての話し合いが行われました。

■卓球お試しプログラム

10月13日（日）不二越体育館で卓球のお試しプログラムが開催されました。

卓球未経験のアスリートからベテランまで多くのアスリートとボランティアさんにご参加いただきました。

卓球のルールについてクイズ形式で学ぶコーナーもあり、アスリートも真剣にチャレンジしていました。



お試しプログラムにご参加のみなさん

■クリスマス会

12月8日(日)恒例となったクリスマス会が富山電気ビルで開催されました。

藤井会長の挨拶ののち、村上監事より乾杯のご発声を頂きました。

今年からアスリートの料理は一皿ずつサーブされる形式になりました。今年もゲームは学生ボランティアの皆さんに進行して頂きました。ビンゴゲームで素敵な商品をゲットしました。

ゲームのあとは、文化プログラムでお世話になっている、道下先生にピアノ演奏をプレゼントして頂

きました。

また文化プログラムのアスリートのハンドベル演奏ではベートーベンの交響曲第九番を披露した他、今年の流行語大賞にもなった「あまちゃん」のテーマソングやゴールデンボンバーの曲などで盛り上がりました。

最後はアスリートとファミリー委員でSON・富山の応援歌「夢にむかって」を合唱しました。今年も大盛況でした。



恒例となったみんなでダンス



メインディッシュの登場です



ゲームの司会は学生のみなさん



文化プログラムのハンドベル演奏



はやくビンゴにならないかな

■医療安全講習会

11月23日(土)富山市障害者福祉プラザで救急講習会が開催されました。今年にはボランティア副委員長で救急救命士の金山彰コーチに講師をお願いしました。

まずはAEDを使用した心肺蘇生法の時間です。心停止時に、心臓マッサージと人工呼吸に加えて、AEDを併用することで救命率は数倍に向上するというデータもあります。参加者は真剣な表情で実習していました。

第二部ではテーピングの方法についても説明がありました。痛みを緩和するだけでなく怪我の予防

にもつながるテーピングは有効に活用したいですね。



ボランティアのお子さんも真剣に取り組んでいました

■プログラム紹介

●卓球

10月13日（日）お試しプログラムに続いて合同競技会が開催されました。今年は射水と高岡の2会場でプログラムを行いました。この日はオープン参加のダブルス戦も行われました



準備体操からスタート



白熱したラリーが続きます



メダルを手にしました。おめでとう！

●水泳

11月3日（日）高岡市営長慶寺室内プールで競技会が開催されました。今年も高岡市水泳協会さんのご協力を頂き、恵まれた環境でトレーニングと競技会を行うことができました。



よい、スタート



メダルをもらってとても嬉しそう



全員ではいポーズ

●サッカー

9月28日（土）競技会が富山南総合公園で行われました。今年もFCひがしさんに来て頂いて、とても楽しく競技会ができました。競技会の後にはサンキューパーティーも行われました。



競技会がスタートしました



青空の下の競技会となりました



バンザイ

●陸上

10月6日（日）、SON・石川と合同の競技会が開催されました。石川からは12名もの大学生ボランティアの参加もあり、いつも以上の盛り上がりを見せました。



選手宣誓も富山・石川合同です



競技会初参加のアスリート



最後は恒例の万歳です

●バスケットボール

新しくスタートした滑川会場と富山会場合同の競技会が11月10日（日）に開催されました。ゲームでは最後まで接戦でドキドキする場面もありましたが、初めての合同競技会は無事終了しました。



個人スキル競技からスタート！



白熱したゲーム



最後は全員で記念撮影

●テニス

11月16日（土）、不二越体育館で競技会が開催されました。今年も全員が個人スキルでの参加となりましたが、昨年よりも確実に上達したアスリートの様子が印象的でした。



最初の競技は「アップ」です



メダルをかけてもらって嬉しそう



競技会に参加したみなさん

●ボウリング

9月29日（日）競技会がクアトロブームアミューズメント小杉で開催されました。第7回のプログラムの様子と併せてお伝えします。



みんなで準備体操



気合の一投



きれいな投球フォームです

●文化プログラム

文化プログラムは昨年までと同様に障害者福祉プラザで行いました。今年も季節の音楽を全員で合唱したり、体を動かしながら楽しく表現しました。



鳴子やマラカスでリズムをとります



ファミリーがお手本を見せる場面も



クリスマス会に向けて練習です

■ボランティア紹介

バスケットボールプログラムが教えてくれたこと

昨年春のある日の新聞に載っていたボランティア募集の小さな記事を見つけた事が、私とスペシャルオリンピックスとの出会いでした。

それまでもボランティアに興味はあったものの、勇気やきっかけがなかった私にとっては、長年のバスケットボール経験を活かせるバスケットボールプログラムでのボランティア募集はとても魅力的なものでした。

バスケットボールでなら、少しは何かお手伝いができるかもしれないという思いから迷わずに参加を決めました。

ただ初参加となった昨年の最初の頃は、どうしていいかわからず戸惑ってばかりでした。途中から自分が楽しむことで、バスケットボールの面白さが伝わるんじゃないかと思い、そうすることでアスリートのみならずとも仲良くなれた気がしました。

山田 晃裕

今年のプログラムでは、サブヘッドコーチという大役を任せられたので、楽しむだけではなく、なるべく技術的なコーチングを心掛けたつもりでしたが、私の想像を超えて、他のコーチの方やファミリーの方々も驚くほど、回を重ねる度に上達していくのがわかりました。

何もわからず飛び込んでしまいましたが、アスリートのみならずにはプログラムを通じて、改めてバスケットボールの楽しさ、面白さを教えてもらった気がします。

これからもアスリート、ファミリー、コーチがお互いに学びあい、楽しみながらバスケットボールプログラムを盛り上げていけるように、そしてスペシャルオリンピックスの益々の発展のために、少しでもお役に立てるよう活動していきたいと思っています。

スペシャルオリンピックスとの出会い

スペシャルオリンピックスに参加したきっかけは、母が見つけてくれた新聞記事でした。以前から、障害のある人たちとスポーツがしたいという思いはあったものの、なかなか機会が得られずにいました。そこで出会ったのがスペシャルオリンピックスでした。

はじめの頃は、アスリートに話しかけても無反応で目も合わせてくれませんでした。しかし、声かけを続けながら活動をともにしていくうちに少しずつ表情も変わってきて、笑顔も見られるようになりました。自分から話しかけてくれたり、「もえちゃん」と呼んで近づいてきてくれるアスリートもいます。そんなちょっとした変化が嬉しくて、もっともっとアスリート達とかかわっていきたく、そう思うようになりました。

プログラムを通じて、少しずつアスリートの“できる”ことが増えていくのを実感し、喜びを分かち合えたとき、そして、アスリートのひたむきな姿と多くの笑顔を見ることができたとき、SOの活動に参加できてよかったとあらためて感じます。バスケットボールプログラムに携わるたくさんの方々との出会いは、ア

坂田 萌

スリートとの絆を深めてくれるだけでなく、活動の仲間の輪を広げてくれるとても貴重な出会いだと思っています。なかなか得難い貴重な経験と多くの仲間との出会いに感謝し、これからもSOの活動を楽しんでいきたいです。

バスケットボールプログラムが終了し、12月からはヤングアスリートプログラムのコーチとして活動に携わります。新規のプログラムということで、多くの方の協力とサポートを受け、少しずつ準備を進めてきました。まだ小さい子どもたちに少しずつ“できる”ことを見出し、増やしていったあげること、そして、今後のスポーツ参加への足がかりとなれるように、“遊び”のプログラムの中で、歌やゲームなどを取り入れながら、体を動かすことの楽しさを伝えていきたいと思っています。私たちも初めてSOの活動に参加する子どもたちと楽しい時間を共有できたらいいなと思います。興味のある方はぜひ参加してみてください！

■ヤングアスリートプログラムがはじまりました

12月14日、2014年度からSON・富山で新しくスタートするヤングアスリートプログラムの第一回のプログラムが富山市障害者福祉プラザで開催されました。このプログラムは2歳から7歳のアスリートを対象として、プログラムを通してスポーツを楽しむのに必要な感覚や運動要領の習得を目的としています。



■賛助者紹介（富山医療福祉専門学校様）

今回ご紹介させて頂くのは富山医療福祉専門学校様です。滑川市にある介護福祉士、看護師、作業療法士、理学療法士を養成する専門学校で、富山医療福祉専門学校のみなさんには、今年からスタートした滑川のバスケットボールプログラムに多くの学生さんがボランティアとしてご参加いただいております。

取材に伺った当日は、介護福祉学科長の金谷先生と介護福祉学科と看護学科の7人の学生のみなさんに話を伺うことが出来ました。

S0に参加した感想を聞くと、「知的障がい者と関わったことがなくイメージがつかなかったが、一緒にやっていくうちに楽しくなった。行くのが楽しくなった」「最初はびっくりしたこともあったけど、慣れてくると楽しんでいる様子が伝わってきた」「どのように関わったらよいか分からなかったが、授業で取り組んだコミュニケーションスキルを生かした」「だんだんと話しかけに答えてくれるようになった。アスリートから話しかけてくれるようになった」など本当にうれしい声が聞かれました。

金谷先生からは「まだ一年生では障がい者の理解についての知識がほとんどない中だったが、コーチ陣や事務局メンバーがビデオ（Be a fan）などの資料を活用して説明してくださったのが効果的だった。参加を重ねるごとに個々に工夫してアスリートとコミュニケーションを図れるようになった。最後には何気ないハイタッチや声かけの仕方が違っていった」と、授業で得られる知識以上に成長があったようです。またS0の活動についても「ファミリーが温かい。お父さんやきょうだいなども活動に関わっていて、コーチの指導法が上手だった」と話しておられました。

最後にS0に参加して良かったと思うことについて聞いてみました。「名前を覚えてもらったり、一緒にご飯を食べられたことがうれしかった」「アス

リートとの距離が自然に縮まった。プログラムの日が楽しみだった」「大好きなバスケットボールを通じてアスリートと交流を持てた」「アスリートが困っていることに気付いたことでアスリートのことを理解できるようになった」「高齢者介護だけではなく、視野が広がった」「自分の中の壁がなくなったことで進路の選択肢が増えた」「いろいろな人に出会えた。学内の仲間やファミリーなどと仲間意識をもって取り組めた」など、楽しく前向きにS0の活動に参加してくれたことがうかがえました。



取材にご協力頂いた金谷先生と学生のみなさん

富山医療福祉専門学校

〒936-0023 富山県滑川市柳原 149-9

TEL : 076(476)0001 (代)

<http://www.tif.ac.jp/>

■コーチクリニック

10月20日（日）高岡市万葉福祉センターで今年2回目のコーチクリニックが開催されました。午前には皆木トレーナーからゼネラルオリエンテーション（GO）とアスリート理解の講義がありました。午後から鹿島トレーナーによる陸上のコーチクリニックの実技を開催しました。この日はあいにくの雨で体育館での開催となりましたが、みんなが楽しめるプログラムについて学ぶ機会となりました。



陸上・実技に参加のみなさん



ボウリング実技の様子

また、11月24日（日）には今年3回目のコーチクリニックが開催されました。午前には射水市小杉社会福祉会館を会場に、渡邊トレーナーからゼネラルオリエンテーション（GO）とアスリート理解の講義がありました。午後からは会場を富山ゴールデンボウルにかえて、宮下トレーナーによるボウリングのコーチクリニックの実技を開催しました。

■事務局から

年の瀬が近づき慌ただしい日が続いています。
今年からプログラムの実施時期が冬季・夏季改め上半期・下半期に変更となりました。卓球に加えてヤングアスリートプログラムが立ち上がり、SON・富山で実

施されているプログラムの数は11となりました。

今年度の総会は2月9日です。皆様のご出席をお待ちしております。

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2013年7月21日~11月30日)>

敬称略

田中 洋一郎			村上 和久		
上原 恵		素谷 孝子		宝島 一浩	
清水 和夫		素谷 宏			
青木 誠之助	神島 健二	長森 万里子	前田 恵佑	宮野 明美	吉藤 国之
市田 路子	川瀬 孝義	奈辺 隆	前田 万里子	村上 朝子	若松 文枝
大角 拓海	熊代 晃子	波岡 一子	松井 栄一	村下 昭一郎	
大野 博美	東井 晃一	福田 孜	松田 智至	山岸 明子	
荻生 明美	長江 幸代	藤井 裕久	三上 裕之	山口 修	
小野寺久美子	長森 清	本間 一正	三松 隆之	山口 恵美	
あおぞらグリーン会					
社団法人富山県手をつなぐ育成会			(株)梅かま		
けやき苑		高岡ライオンズクラブ		山崎コンクリート工業(株)	

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
(日本は、「ニッポン」としてください)
北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5308370
ゆうちょ銀行 00720-0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

ありがとうございました。

※お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

<正会員に登録頂いた皆様(2013年7月21日~11月30日)>

敬称略

石金 一洋	熊代 晃子	坂井 美津子	杉浦 直巳	奈辺 晴美	飯 まどか
石金 佳奈子	佐伯 秀彦	清水 和夫	宝島 一浩	松井 栄一	山崎 政行
内山 隆一	佐伯 育代	菖池 茂樹	宝島 恵子	松井 純子	山崎 麻住実
内山 美紀	坂井 政彦	菖池 直美	田中 健太郎	飯 健治	

未来の地球を支える子供たちへ...



Kids' ISO 14000 プログラム

Kids' ISO14000 プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供達を育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。



富士ゼロックス北陸株式会社
富山事業所 / 富山市新桜町 5-3
TEL: 076-431-2121
本社 / 石川県金沢市中橋町11-18
TEL: 076-260-0900

富士ゼロックス北陸株式会社は、スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

2013-2014 シーズン
白熱のホームゲーム開催中



富山グラウジーズはスペシャルオリンピックス日本・富山を応援しています

ホームゲーム開催詳細・最新情報

WEB <http://grouses.jp/>

Facebook <http://www.facebook.com/toyama-grouses>

